

令和元年度経営発達支援事業自己評価報告書

経営発達支援事業の実施状況及び自己評価を次のとおり報告します。

1 認定された経営発達事業の取り組み状況

1、地域の経済動向調査に関すること

地域内の経済動向を調査・分析し小規模事業者に情報提供し、小規模事業者が適切な経営判断、経営計画策定ができるようにする。

(現状の課題と対応)

経済動向調査は既に過年度に実施済みの為、今年度は実施せず。管内小規模事業者が事業計画策定に向け活用できる情報提供を行い、経営指導員が経営分析や補助金申請などの支援実施時にタブレット等を活用し指導した。

2、経営の分析に関すること

管内小規模事業者の持続的・安定的な発展に向け、経営指導員の定期的な巡回・窓口相談、経営分析、各種セミナー等の開催を通じて小規模事業者を個別に支援することで個者支援のためのデータ蓄積等を行なっていく。

(現状の課題と対応)

定期的な巡回訪問や窓口指導を行っているが、小規模事業者は自社の経営状況を的確に把握できていないことがほとんどである。問題が発生してからではなく、現状の課題抽出や今後の施策に向けたアイデアの提案が出来るような個別相談体制の確立をめざす。

3、事業計画の策定支援に関すること

事業者が経営課題を解決するため、経営分析、市場調査等の結果を踏まえ、事業計画の策定支援を行う。また、鹿児島県、日置市等の行政機関や地域金融機関、よろず支援拠点、中小機構等の支援機関との連携を進めることで事業者への伴走支援を実施するにあたり指導・助言を行い、事業者の持続的発展を図っていく。

(現状の課題と対応)

今年度はセミナーを2回開催し、また、各種補助金申請時や金融支援・創業支援時に経営分析を行ったが、事業者にみられる傾向として、事業計画策定にあたる自己分析の手法がわからないというのが多い。

4、事業計画策定後の支援に関すること

小規模事業者が補助事業などの実施に伴って作成した事業計画に基づき、計画通り適正に実施されているかの確認を巡回指導等により行う。また、継続的な伴走支援を実施することで小規模事業者の持続的発展・事業継続を支援していく。

(現状の課題と対応)

小規模事業者持続化補助金やものづくり補助金などの補助事業の採択を受け、事業計画に沿った事業実施支援を行った。進捗状況の把握によるアドバイスや実施後の効果測定を行っているが、更なる事業の発展に向けた追加施策の実施が今後必要である。

5、需要動向調査に関すること

地域動向調査を踏まえた、管内の小規模事業者の販売する商品や提供するサービス等について、経営分析や事業計画策定支援により抽出された課題解決を行なう。巡回時にタブレット等の情報端末を活用し、需要開拓支援に向けた小規模事業者の経営意識の向上を図り、商品のブラッシュアップや新商品開発に繋げていくことを目指す。

(現状の課題と対応)

商談会・展示会の出展時に、商品のヒアリングをバイヤーや消費者等に行った。小規模事業者は、自社が取り扱う商品やサービスに関する情報を有効活用できていない場合が多く、今回のような具体的な地域動向を踏まえた商品・サービスを提供することで、新たな販路開拓に向けた取り組みが出来るのではないだろうか。

6、新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

小規模事業者の販路開拓を支援していく為に、地域イベント等への出店や各種展示会・物産展への出展機会を増やすことで、地域住民・観光客や新規取引先への販路開拓を行い、保有する商品・サービスなどの認知度向上を図っていく。また、創業者を増やすための施策を実施することで、地域事業者の新陳代謝を図り、地域経済の活性化を図ることを目的とする。

(現状の課題と対応)

今年度は県外を含め商談会・展示会等に合計5回出展した。また、管内のイベントについては、商工会としては各種イベントの運営や周知などの情報発信に重点が置かれている。展示会や物産展などのB to Bの販路開拓を推進するとともに、各種イベントでの出店機会を活かした販売力強化を促していく必要がある。

7、地域経済の活性化に資する事業に関すること

日置市・日置市観光協会等と連携する中で、今後の地域活性化に資する方向性を検討していく。その地域活性化に資する各種地域イベント等での協力体制を構築することで、市内外への広報により、市外からの交流人口の増加に向けた取り組み等を促進し地域経済の活性化を目指す。

(現状の課題と対応)

現在、各種イベント運営などにおいては、広報誌や折込みチラシ・ポスター等での周知が中心で、地域内の住民向けとなっている。日置市役所・日置市観光協会等と連携し、市外からの交流人口の増加に向けて、各種イベント等の集客力を高めるなど出店小規模事業者等への活性化に繋げることが必要である。

8、他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

地域金融機関・各支援機関・専門家等と情報連携やセミナーなどの参加を通じて、管内小規模事業者への支援ノウハウの共有、管内小規模事業者への情報提供体制などの構築することを目指す。

(現状の課題と対応)

日置市役所・日置市観光協会・地域金融機関とは情報共有ができていますので、他の支援機関について、今後の経営発達支援計画を踏まえ、連携の在り方などについて協議していく必要がある。

9、経営指導員等の資質向上等に関すること

伴走型支援を実施するにあたり、法律制定による中小企業・小規模事業者施策の変化に対応するため、職員の資質向上は不可欠なものとなっている。このことから、各研修会等に積極的に参加することで資質向上に向けて取り組む。

(現状の課題と対応)

商工会での研修会では、自己研鑽の為に時間が十分に確保できていない。小規模事業者支援においては、職員の資質向上は重要な課題であり、情報共有を図ることで円滑な商工会運営が行えるような体制構築が必要である。

10、事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

商工会の事業実施における体制の中で、PDCA サイクルにおける、成果の検証ができていないことが散見されていた。経営発達支援計画の運用の中で数値的評価を基に事業報告における評価を実施することで PDCA サイクルの運用と事業のブラッシュアップを図っていく体制を構築する。

(現状の課題と対応)

R2 年度以降は新たな経営発達支援計画を申請中の為、事業への改善・発展に向けた効果的な支援体制を構築していくことが必要である。

2 認定された目標数値（年度目標数値）

項目	定量内容	元年度目標	元年度実績	達成率
経営状況の分析	経営状況分析事業者数	180	188	105%
事業計画策定支援	事業計画策定件数	24	62	259%
事業計画策定後の実施支援	フォローアップ事業者数	24	62	259%
〃	フォローアップ延べ回数	24	62	259%
需要動向調査	需要動向調査実施事業者数	4	5	125%
新たな需要の開拓に寄与する事業	展示会・商談会の出展又は開催件数	10	8	80%
地域経済活性化	関係機関との協議実施件数	15	16	107%

3 支援体制

(1) 本会の支援体制

事務局長	1人	経営指導員	5人	経営支援員	5人	その他	5人
------	----	-------	----	-------	----	-----	----

(2) 連携等の状況

連携先	具体的な内容
日置市役所・日置市観光協会	管内における情報交換会を毎月開催し、経済環境や小規模事業者の経営状況を情報収集し、指導に役立てる。
日本政策金融公庫鹿児島支店・地元金融機関の各支店	金融支援ネットワーク担当者会議を開催し、管内における金融支援状況の確認と情報交換、また新たな支援体制の構築を検討する。
鹿児島銀行本店・吹上支店	商談会・展示会出展における管内の小規模事業者支援。

4 収支の状況

(1) 収入の部

科 目	予 算	決 算	増減	備 考
県補助金	6,299,628	6,299,628	0	
全国連補助金	2,000,000	1,544,996	△455,004	(伴走型)
委託費等	0	0	0	
自己資金	3,744,372	1,415,731	△2,328,641	
その他	0	0	0	
収入の合計	12,044,000	9,260,355	△2,783,645	

(2) 支出の部

科 目	予 算	決 算	増減	備 考
小規模企業対策事業費	12,044,000	9,260,355	△2,783,645	
経営改善普及事業 指導事業費	10,044,000	7,715,359	△2,328,641	
全国連補助金	2,000,000	1,544,996	△455,004	(伴走型)
支出の合計	12,044,000	9,260,355	△2,783,645	

5 自己評価報告

項目	自己評価	コメント
地域の経済動向調査に関する こと	D	・既に実施済みの為、今年度は実施せず。次年度以降 内容を変更し実施予定。
経営状況の分析に関する こと	A	・経営指導員等の定期的な巡回指導や窓口相談件数に ついては所期の目標値をクリアできている。問題発生 前に何らかの気づきを与える支援が必要であり、管内 事業所の意欲度合いから致し方ないという面もある が、改善が必要である。
事業計画策定支援に関する こと	A	・セミナーを2回開催し、また、補助金申請や創業支 援等の事業計画策定数も踏まえ、目標値をクリアでき ている。
事業計画策定後の実施支援に 関すること	A	・小規模事業者持続化補助金やものづくり補助金等フ ォローアップでの目標値を上回った。さらにきめ細か い支援に向けた体制整備が必要である。
需要動向調査に関する こと	A	・展示会及び商談会出展時にバイヤーや顧客に対して アンケート調査を行い、参加事業所へ内容をフィード バックした上で商品等のブラッシュアップを行った。
新たな需要の開拓に寄与する 事業に関する こと	B	・目標に掲げている新規需要開拓のテーマが多岐にわ たっているため、改善を図る為、展示会及び商談会を メインに事業者を絞って参加した。東京や福岡での出 展の為、長期的な視野での支援が必要である。
地域経済活性化に資する 取組	B	・行政や日置市観光協会と連携し、これまでのつな がり経験を生かし、実施出来ている。
事業の円滑な実施に向けた支 援力向上のための取組	B	・他の支援機関との支援ノウハウの情報交換や経営指 導員等の資質向上等の取り組みについては、概ね達成 できている。今後も引き続き更なる支援力向上に向け て努力したい。
全体報告（総合評価）	B	・概ね達成できているが、取り組む事業テーマが多岐 にわたり、一つ一つに注力できない状況もみられた。 次年度以降は、新たな申請内容において目標値も再検 討するなど、実効性のある経営発達支援計画の実施を 目指したい。

※評価の目安 A：目標を達成することができた。（100%）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標をほとんど達成することができなかった。（30%未満）